

令和6年7月10日



コミュニティ・スクール

日の出町CS通信 No.3

日の出町コミュニティ・スクール創設準備連絡協議会事務局

第3回日の出町コミュニティ・スクール創設準備連絡協議会は、令和6年7月2日（火）に杉並区立天沼小学校のコミュニティ・スクール（学校運営協議会）の視察に行きました。杉並区立天沼小学校は、平成22年から学校運営協議会制度を導入し、対話と熟議を通じた充実した取組を行っています。

【視察内容】

1 杉並区立天沼小学校コミュニティ・スクール（学校運営協議会）及び学校支援本部（あまぬまワンダラズ）の取組について説明

【講師】 杉並区立天沼小学校 薩摩 博之 校長

2 質疑応答

【講師】

杉並区立天沼小学校 薩摩 博之 校長

杉並区立天沼小学校 中島 寛人 副校長

杉並区立天沼小学校学校運営協議会 井上 尚子 会長職務代理者

杉並区立天沼小学校学校支援本部（あまぬまワンダラズ）神谷由美子 事務局長

3 校内施設見学



杉並区立天沼小学校校舎（学校ホームページより）



学校運営協議会の部屋は、校長室と同室になっていました。

薩摩博之校長先生からの説明概要

【天沼小学校運営協議会について】

- 当初は、学校運営協議会として、何を頼りに意見を述べるのか迷ったが、「学校評価により関係者の意見を知ること」「関係者との熟議により思いを知ること」に整理し取り組んできた。
- 平成 24 年から行っている「サマーワークショップ」を熟議の場として、毎年、教職員・保護者・地域の皆さんの声を集めている。テーマは学校評価結果や課題となる内容、理解を要する内容等を協議して決めている。

【天沼小学校運営協議会のスタンス】

- 学校だけに課題解決を求めない。地域で解決できる課題は地域が主体となり解決する。
- 天沼小に関わるひとりひとりが当事者となる。みんなで考え、前に進める場づくりをする。
- 未来の天沼小学校像を考えその実現を目指す。

【天沼小学校運営協議会の使命】

- よりさまざまな声を集め学校運営に反映させること
- 必要な情報を正しく伝え理解を求めること
- 共に考えていく学びの場を提供すること
- 学校を取り巻く様々な課題を解決するための方法を提案すること

【運営の工夫】

- 分科会に分かれての活動推進
 - ・学校評価分科会・・・学校評価指標の作成・評価結果の報告
 - ・研修・交流分科会・・・講座・熟議等の企画運営
 - ・広報分科会・・・広報活動…毎月の「学校だより」にコーナー設置

【学校支援本部（AW）あまぬまワンダラズ について】

- 地域学校協働活動
 - ・「授業コーディネート」「学習支援活動」「学校行事の運営支援」「土曜・放課後子ども教室運営」「地域の協力団体との協働活動推進」

【取組】

- 特色ある教育活動における地域学校協働活動・学習支援活動の実施
（キャリア教育）
 - ・お店番体験(3年)、安全マップづくり(4年)、AKP(5年)：天沼会社経営プロジェクト、わたしたちの天沼(6年)
（日本の伝統・文化理解）
 - ・地元の専門家の指導による本物体験の重視
茶道、華道、書道、伝統工芸等の体験活動
（読書活動）
 - ・お話し会、読み聞かせ

【CS 推進のポイント 形であらわす】

- 学校と学校運営協議会はパートナー。
 - ・スタッフボード、名札、CS委員用靴箱設置



質疑応答の概要

【委員から】

- 学校運営協議会制度の導入当初、どのように進められましたか。

【会長職務代理者から】

- 1、2年目は何をしたらよいのか分からず、まず、「学校を知る」を基本としました。1年目は、小グループに分け、グループ毎に先生方と話をし、全体会で報告する形式としました。次に、保護者や地域にとって内容が分かりづらい「教育課程」について、教務主任の先生にお聞きしながら理解し、学校運営協議会として「分かりやすい教育課程」の解説冊子を作成しました。2年目以降は、1年目の微調整となり変更点等先生方にお聞きしながら進めています。

【委員から】

- 委員の選任はどのようにされていますか。

【校長から】

- コミュニティ・スクールの目的を理解し、主体的に協議や熟議、活動に関わっていただける方を人選する必要があります。初代の校長先生は「充て職よりも、一緒に学校運営を話し合える人で選びたいという思いで人選した。」とおっしゃっていました。学校運営協議会委員の役割を理解いただける方をお願いすることも大切です。

【委員から】

- 活動のためのどのくらいの費用がかかりますか。

【校長から】

- 委員報酬については、教育委員会に対応していただいています。活動費については、学校運営協議会の予算として、教育委員会から配当があり、協力者への謝礼や需用費等に充当しています。

【委員から】

- 学校運営協議会を運営するに当たって困ったことはありませんか。

【会長職務代理から】

- 学校運営協議会が何をするのかが分からず困りました。そのために、①内容整理（学校評価により関係者の意見を知る。）②教職員、保護者有志、学校運営協議会委員等との対話や熟議により思いを知ることを重視しました。そして、①②により学校の取組を理解することを心掛け、学校評価の結果報告書を作成し、保護者の評価（声）をとらえることとしました。

【委員から】

- 他の学校からコミュニティ・スクールとなった学校に着任されて困ったことはありませんでしたか。

【校長から】

- 困ったことはありません。天沼小は先進的に取組を進めてきて15年目となるため、本校に着任して、学校運営協議会や学校支援本部の活動に驚き、感謝しています。私は、学校運営協議会や学校支援本部をパートナーと考えています。



質疑応答の概要

【委員から】

- 学校運営協議会制度導入による成果として、地域連携が進んだが80%であるのに比べ、学力向上が低い割合になっていないですか。

【校長から】

- この調査は、全国調査結果であり、天沼小では、学校評価をご参照ください。

【支援本部事務局長から】

- 天沼小では、本物に触れる体験を重視し、子どもたちの「やった！」という感覚を大切にしています。長期的スパンで考えると、大人になったときに、その経験が生きると考えています。

【委員から】

- 校内に学校運営協議会の部屋はありますか。

【支援本部事務局長から】

- 学校運営協議会は校長室と同室になっています。学校支援本部は、専用の部屋があります。コミュニティ・スクール導入の際には、是非、活動の拠点となる部屋を設置することをおすすめいたします。

【委員から】

- PTAとの関わりや位置づけはどのようになっていますか。

【会長職務代理者から】

- PTAは保護者（有志）として参加していただき、連携関係を大切にしています。学校運営協議会では、保護者や地域の代表として運営にかかわっていただき、立場の違いを生かし合うことを大切にしています。

【委員から】

- 作成されている書類について、とても分かりやすく、読みやすい。レイアウトや校正などどなたが担われているのですか。

【会長職務代理者から】

- 学校運営協議会を3分科会（①学校評価、②研修・交流 ③広報）で構成しています。広報資料は、広報分科会のメンバーが作成しています。

【委員から】

- 小中連携の取組について教えてください。

【校長から】

- 天沼小と近隣の沓掛小の2つの小学生が進学する天沼中、3校で小中連携の取組を年5回実施しています。他にも3校合同での学校運営協議会を年1回実施しています。



【委員から】

- 学校と学校運営協議会の目指すところが違う場合にはどうされているのですか。

【会長職務代理者から】

- 学校運営協議会は、教育課程に位置付けられた教育活動の中で活動しています。

【校長から】

- 校長の計画に沿って活動していただいているのが学校運営協議会であり、主体は校長の経営方針です。

【事務局から】

- 学校運営協議会の1年間の活動回数について教えてください。

【会長職務代理者から】

- 全国平均5.3回。杉並区は10回です。年間2～3回の活動では足りないと思います。活動内容に応じて活動計画を立てていくことが大切だと思います。